



「エゾエンゴサク」能取岬や呼人探鳥遊歩道、線路脇など様々なところで見ることができます。



「エゾエンゴサク」様々な色の花があります。運がよければ真っ白なものも見るすることができます。



「福寿草」雪解け後の能取岬でよく見かけます。名前からしても縁起がよさそうな花です。



「福寿草」まだ蕾が開ききっていませんが、森の中で可憐に咲く花も素敵です。



「ふきのとう」雪解け後すぐに顔を出すふきのとうは、春を感じさせてくれます。天ぷらにしても美味しいです。



「春の海と知床連山（能取岬より）」オホーツク海の先に知床連山が見えます。海岸には打ち上げられた流氷も見られます。



「春の海と知床連山（能取岬より）」この時期の知床連山は雪を被っており、青空によく映えます。



「水芭蕉（呼人群生地）」水芭蕉の花は、実は白い部分ではなく、その中心の黄色い部分になります。





「水芭蕉（濤沸湖畔）」水芭蕉は呼人の群生地が有名ですが、藻琴湖畔など色々な場所（湿地）に群生しています。



「一面に咲くタンポポ（能取岬）」一斉にタンポポが開花し黄色いじゅうたんのようになります。（ほぼ全てが外来種の西洋タンポポです。）



「エゾタンポポ(西洋タンポポとの雑種の可能性あり)」西洋タンポポの少ない場所にごくまれに見られます。



「エゾタンポポ（西洋タンポポとの雑種の可能性あり）」このタンポポも、後に西洋タンポポと交雑したり、西洋タンポポに追いやられる可能性もあります。



「エゾヤマザクラ（天都山）」網走では、桜は5月の連休明けに梅の花と同時に咲き始めます。



「センダイハギ」春先に濤沸湖の周辺などでよく見かける花です。



「ハマエンドウ」その名のとおり浜辺（砂地の場所）に咲く、マメ科の植物です。春から夏にかけて咲くのでよく見かけます。



「ハマエンドウ」よく見ると面白い花の形をしています。





「春のウニ漁」流氷がまだ残る海で、流氷の合間をぬってウニ漁が行われます。網走ではエゾバフンウニが漁獲されます。